



1 防災ヘリによる救助訓練。その正確な動きに参加者たちもついカメラを向けた 2 重たい土のうもみんなで力を合わせればあつという間に積みあがる 3 旧寺子小での避難所訓練にも多くの人が参加した



那須水害から20年。私たちは忘れない ～総合防災訓練～

残暑が厳しい8月26日、市総合防災訓練が行われました。この日は、那珂川河畔運動公園で自衛隊や防災ヘリも参加して大雨災害に対する訓練を実施。また、旧寺子小学校でも避難所の運営訓練が同時進行で行われ、両会場で合わせて1,000人を超える市民が参加しました。折しも今年、那須水害の発生から20年。参加した人たちは、災害に対する心構えを新たにしていました。



これからもお元気で ～100歳以上の高齢者をお祝い～

市内の100歳以上の人の長寿を祝うために、市長が訪問し、敬老祝い金と祝辞を贈呈しました。市内には来年4月1日までに100歳以上となる人が83人おり、その内5人を市長が訪問。9月3日に訪問した今年度100歳となる君島貞策さんの家では、家族4世代が一同に集まりお祝い。君島さんは、歌を聞いたり字を書くことが好きだそうで、「100歳を迎え、今後ますます元気でやっていきたい」と話してくれました。



那須塩原の牛乳は最高だも～ ～牛乳の日 牛乳で乾杯～

9月2日は「那須塩原市牛乳の日」です。この日、那須塩原駅西口前広場で開催された「なすしおばらマルシェ」の会場で、牛乳の日のイベントが行われました。会場を訪れていた人たちが市長の音頭で地元産の牛乳で乾杯を行ったほか、市内の若手農業者たちや那須清峰高校、那須拓陽高校が設けた牛乳やオリジナル乳酸菌飲料の無料試飲コーナーも多くの人でにぎわいました。訪れた人たちは牛乳を飲み比べて、その味を堪能していました。



秋の気配を感じられるようになった9月9日、山間の温泉街にお囃子の軽快な音色が響き渡る。今年も塩原温泉にまつりの季節がやってきた。地域の若者たちが中心となって制作をしてきた自慢の山車が街中を練り歩く。
 このまつりは、かつて塩原に御用邸があった頃、人形を乗せた山車を作って大正天皇の即位を祝ったのが始まりとされる。大正から昭和、平成と時代は変わっても、常に多くの笑顔が山車の周りに溢れていた。

大正・昭和・平成… 時代を超えて引き継がれる 塩原温泉まつり

